

# 03 「社会のために役に立ちたい」 「市民活動で主体的に頑張っている人を応援したい」

## そんな想いをお持ちの方からの寄附を受け付けています。

当財団では多様な寄附制度の確立に取り組んでいます。その中で、寄附者が独自に寄附金の名称や寄附先団体などを決めることができるのが『冠基金』。たとえば“◎◎株式会社基金”“田中基金”“子育て応援基金”といった名前の寄附金プログラムをつくり、確実に成果を出せる見込みのある団体を選定して支援（助成）することができ

きます。「地域の役に立ちたい」「■◆という活動を応援したい」という寄附者の想いを実現できる制度です。当財団への寄附であることから、税制優遇を受けることができます。

## たとえばこんな場合に『冠基金』をつくりませんか？

### <企業の場合>

#### 社会貢献の一環として

企業の社会的責任が重視される今、地域社会を支え、地域の一人一人がより充実して自分らしい生活を送ることができるように、当財団への寄附による『冠基金』に企業名をつけて、NPO 支援をしませんか。

※詳しいシミュレーションは、  
右のページをご覧ください。

### <個人の場合>

#### 自分の気持ちを形にする 手段のひとつとして

ご自身の資金や資源を誰かの役に立てたいとお思いなら、寄附という手段を選択しませんか。

#### 社員の自主性を応援する 福利厚生の一環として

「シングルマザーを支えたい」「国際協力に関わりたい」「地球温暖化問題の一助になりたい」といった社員の自主性を、会社をあげて応援しませんか。

当財団で『冠基金』をつくるには、原則 50 万円以上の寄附金を必要としています。1 人で 50 万円を寄附するのはなかなか難しいもの。ここでは寄附金の財源となるお金の集め方を少しだけ紹介します。

## 企業の場合

### お給料の端数分を集める

全従業員の月給の下二桁を寄附として集め、『冠基金』をつくる。

¥73  
¥28 ¥9

### マッチング制度を取り入れる

社員の有志が月給から一定額を寄附するとともに、その合計額と同額を会社が提供して『冠基金』をつくる。

会社  
社員

### 売上の一部を寄附する

1%  
毎月の売上の 1% を寄附として集め、『冠基金』をつくる。

### 社内オークションの売上を寄附

3,800  
26,500  
19,800  
新商品開発の際に利用したサンプルの社内オークションを実施し、売上を寄附して『冠基金』をつくる。

### 寄附金付き商品を売り出す

売上の一部は  
OOに活用！  
新作ゲーム△OO  
¥18,000  
「子どもの日」にあわせて企画した子ども向け新商品を寄附金付き商品として販売し、販売利益の一部を寄附し、子育て支援活動を支える『冠基金』をつくる。

### 独自ルールで寄附をする

営業1課  
独自のルール  
100個で  
100円！  
特定の商品の販売数 100 個ごとに 100 円を寄附して、『冠基金』をつくる。

### 昼食費からお金を集める

¥5  
昼食用お弁当や社員食堂の価格に 5 円を上乗せし、その 5 円を寄附して、『冠基金』をつくる。

## 個人の場合

### メモリアルなタイミングで寄附

Birth Day  
16 17 18 19  
24 25 26  
31 2/1 2/2  
たとえば結婚、出産、喜寿、◎周年といった節目のときにみんなからもらったお祝いを寄附して『冠基金』をつくる。

### サークルやOBOGで寄附を集める

¥600  
サークル仲間や OBOG 仲間毎月飲み会や懇親会のお釣りを寄附したり、定期的な募金で集まったお金を寄附したりして、『冠基金』をつくる。

### 相続を寄附する

大切な家族が急になくなってしまったとき、資金や土地、建物といった遺産を寄附して、なくなった方の想いや志、夢を実現するための『冠基金』をつくる。

当財団の『冠基金』では、寄附をする対象やテーマの決定、応募団体の審査・決定などに関わることもできます。当財団に一任していただくことも可能です。